

Innovative Asia（イノベティブ・アジア）事業
第3バッチ（2019年度受入）～第5バッチ（2021年度受入） 実施要領

独立行政法人 国際協力機構
国内事業部

1. 背景

2016年6月に「日本再興戦略2016」が閣議決定され、アジア諸国と日本との間の高度人材の環流と、これによるアジア全体のイノベーションの促進を実現するための諸施策を政府全体で進めていく旨が定められた。

上記の一環として、我が国政府は、アジアの開発途上国12か国のトップレベル大学の優秀な学生に対し、ODAを活用した高水準の人材育成事業（世界最高水準のイノベーション環境を有する我が国での研修を含む。）への参加の機会を提供することとし、2016年9月の「日・ASEAN首脳会議」や、同年11月の日印首脳会談での「日印共同声明」等において発表した。なお、日本政府は本イニシアティブで育成された人材のうち、日本国内の企業等への就職を希望する者に対し、可能な限りの支援（出入国管理上の優遇措置を含む）を行う予定である。

JICAは、本政策イニシアティブにおける人材育成の実施を担うことになった。

2. 目的

本事業により来日した留学生が、日本の大学を修了した後に、日本企業又は現地の日系企業に就職することにより、国内産業のイノベーションを促進し、我が国と各国の紐帯を強める一助となることが期待される。

また、日本の産業界での経験を積んだ後に、半永久的に日本に滞在するのではなく、母国に戻り、母国の更なる発展に貢献できる中核人材となることにより、アジアの開発途上国が抱える「中所得国の罠」といった課題を乗り越えることを目指す。

3. 事業名称

- (1) 和文名称：イノベティブ・アジア
- (2) 英文名称：Innovative Asia

4. 内容

本事業は、アジア諸国の高度産業人材の育成とイノベーションの促進を実現することを目的に、対象12か国出身で、かつこれら12か国のパートナー校60校のいずれかの学士号を持つ者を対象に2017年度から2021年度までの5年間で、約1,000人の留学生受入を目指す計画として日本政府より発表されたものである。対象者の受入実施形態は以下の通り（第3バッチ以降は(1)について、学位課程への受入部分は国費留学生制度によるものとする）。

- (1) 長期研修（大学院修士課程、専門職学位課程、又は博士課程の学位課程受入）
- (2) 短期研修（滞在期間 1 年未満 ※大学の短期留学プログラム等）

5. 実施期間

事業全体：2017 年 9 月～2025 年 3 月（最長 8 年 6 か月）

留学生（学位課程受入の長期研修員）の受入は、5 バッチ（年次）に分けて行う。

- (1) 長期研修（学位課程受入）（最長 3 年 6 ヶ月※）

第 3 バッチ：2019 年 4 月または 9 月～2022 年 9 月または 2023 年 3 月

第 4 バッチ：2020 年 4 月または 9 月～2023 年 9 月または 2024 年 3 月

第 5 バッチ：2021 年 4 月または 9 月～2024 年 9 月または 2025 年 3 月

※正規課程生としての在学期間（専門職学位及び修士は最大 2 年間，博士は最大 3 年間）と終了後のインターンシップ（最長 6 か月）を合わせた期間。

- (2) 短期研修

2018 年度より開始。

6. 対象国

アジア地域の 12 か国（インド、インドネシア、カンボジア、スリランカ、パキスタン、タイ、バングラデシュ、フィリピン、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、ラオス）

7. 対象者及び対象分野

本プログラムのパートナー校として定めた対象 12 か国の大学・大学院（以下、パートナー校）60 校（別添 1 参照）において、我が国とアジアの開発途上国双方におけるイノベーション環境の改善への貢献が期待される、情報技術（Information Technology）、IoT（Internet of Things）、人工知能（AI/Artificial Intelligence）等の科学技術分野及び工学分野を専攻する卒業予定者もしくは卒業生を主な対象とする。

8. 対象人数

日本政府は、2017 年度から 2021 年度までの 5 年間で、1,000 人を目標に受け入れる計画としており、受入人数については、毎年度予算の成立をもって決定される。なお、2018 年度受入までは JICA 研修員制度で受入を実施し、第 3 バッチ（2019 年度受入）以降、学位課程（＝長期研修）の新規受入は国費外国人留学生制度にて行い、JICA が付加的なプログラムの実施やインターンの実施支援を行う。

9. 本邦受入大学

受入大学の必須要件は以下の通りとする。

(1) 長期研修（学位課程受入）

第3バッチ以降、本事業における長期研修員受入大学となるためには、国費留学生の優先配置を行う特別プログラムにおいて当該受入プログラムとして採択される必要がある。受入大学は別添2の通り。

(2) 短期研修（詳細別途通知予定）

10. 企業・研究機関見学、インターンシップ

留学生に対し、企業や研究機関等における就学期間中の見学・インターンシップについて可能な限り大学にて機会を提供する（原則英語で実施可能なもの）。難しい場合、JICAより適当なインターンシップ実施枠組みや候補企業・機関等を紹介する。

イノベティブ・アジア事業は上記2.の目的のとおり、修了後に本邦企業または日系企業への就職を見据えたプログラムであり、インターンは就学期間中の実施が望ましいが、これが難しいと判断される場合には、修了見込み時期の一年前までに受入大学と外務省・JICAが協議し、必要性について合意の上、卒業後最長6か月を上限としてインターンシップ実施が可能。

インターンシップの実施決定後、JICAにおいて必要な旅費を手配する。卒業後のインターンシップが3か月を超える場合、在留資格は「文化活動」とし、「留学」からの切り替え手続き支援をJICAが行う。

11. 留学生の待遇

留学生に支給される経費及び支給額については、下表のとおり。

経費の種類	支給額	支給方法
学生納付金（検定料、入学金、授業料等）	文部科学省国費外国人留学生制度の通り	文部科学省国費外国人留学生制度の通り
奨学金	同上	同上（ただし、卒業後インターンシップを実施する場合、卒業後の本邦滞在費はJICA規程に準じJICAより研修員本人に支給）
渡日旅費・帰国旅費	同上	同上（ただし、卒業後インターンシップを実施する場合、帰国旅費はJICA規程に準じJICAが負担）
インターンシップ実施にかかる内国旅費	JICA 国内旅費規程に準ずる	遠方での実施の場合、交通費および宿泊費は（企業等の協力が得られる場合を除き）JICAが現物支給。 少額交通費はインターンシップ実施後、JICAより留学生本人に対して支給

留学生の学位課程在学中、JICAと受入大学との「研修員受入委託契約」に基づき

JICA 研修員同様以下の経費を JICA が負担。

経費の種類	上限額及び支出対象	支給方法
教育研究費	・ 30,000 円（単価上限）に当該年度の研修員受入月数及び人数を乗じた金額 ・ 教育研究に必要な図書・資料購入、学会及び研究費用、製本・印刷等	・ JICA との研修員受入委託契約に基づく（概算請求可能）。 ・ 研修員受入委託契約は年度毎に締結することとし、履行期間終了時に精算を行う。
就学支援費	・ 40,000 円（単価上限）に当該年度の研修員受入月数及び人数を乗じた金額 ・ チューターの雇用（大学の規定等に基づくもの）、教育・研究に必要な各種保険加入費用、等	
間接費	・ 上記執行金額の 30%	

12. 問い合わせ先

独立行政法人 国際協力機構 国内事業部 大学連携課
E-mail : tatuc_university@jica.go.jp TEL : 03-5226-8734

別添 1 : パートナー校一覧

別添 2 : 本邦受入大学一覧

以上

パートナー校一覧

No.	Country	University	日本名
1	Bangladesh	Bangladesh University of Engineering & Technology (BUET)	バングラデシュ工科大学
2		University of Dhaka	ダッカ大学
3	Cambodia	Institute of Technology of Cambodia (ITC)	カンボジア工科大学
4		Royal University of Phnom Penh	王立プノンペン大学
5	India	Indian Institute of Information Technology, Design, and Manufacturing: IIITDM-J	インド情報技術大学ジャバルプル校
6		Indian Institute of Technology Bombay	インド工科大学ムンバイ校
7		Indian Institute of Technology Delhi	インド工科大学デリー校
8		Indian Institute of Technology Guwahati	インド工科大学グワハティ校
9		Indian Institute of Technology Hyderabad	インド工科大学ハイデラバード校
10		Indian Institute of Technology Kanpur	インド工科大学カンプール校
11		Indian Institute of Technology Kharagpur	インド工科大学カラグプール校
12		Indian Institute of Technology Madras	インド工科大学マドラス校(アンナ大学)
13		Indian Institute of Technology Roorkee	インド工科大学ルールキー校
14	Indonesia	Bogor Agricultural University	ボゴール農業大学
15		Institut Teknologi Bandung	バンドン工科大学
16		Institut Teknologi Sepuluh Nopember	スラバヤ工科大学
17		Universitas Darma Persada	ダルマブルサダ大学
18		Universitas Gadjah Mada	ガジャマダ大学
19		Universitas Hasanuddin	ハサヌディン大学
20		Universitas Indonesia	インドネシア大学
21	Laos	National University of Laos	ラオス国立大学
22	Myanmar	Mandalay Technological University	マンダレー工科大学
23		University of Yangon	ヤンゴン大学
24		Yangon Technological University	ヤンゴン工科大学
25	Malaysia	Management and Science University (MSU)	マネジメント・サイエンス大学
26		Universiti Kebangsaan Malaysia / The National University of Malaysia (UKM)	マレーシア国民大学
27		Universiti Malaya (UM)	マラヤ大学
28		Universiti Malaysia Sabah (UMS)	マレーシア・サバ大学
29		Universiti Putra Malaysia	マレーシア・プトラ大学
30		Universiti Sains Malaysia (USM)	マレーシア科学大学
31		Universiti Teknologi Malaysia (UTM)	マレーシア工科大学
32		Universiti Teknologi MARA -UiTM	マレーシア・マラ工科大学
33		Universiti Teknologi Petronas	ペトロナス工科大学
34		Universiti Tun Hussein Onn Malaysia (UTHM)	マレーシア・トゥン・フセイン・オン大学

No.	Country	University	日本名
35	Pakistan	National University of Sciences and Technology (NUST) Islamabad	国立科学技術大学
37		NED (Nadirshaw Eduljee Dinshaw) University of Engineering and Technology, Karachi	NED工科大学カラチ校
36		University of Engineering and Technology (UET) Lahore	ラホール工科大学
37	Philippines	Ateneo de Manila University	アテネオ・デ・マニラ大学
38		De La Salle University	デラサル大学
39		Mindanao State University-Iligan Institute of Technology	ミンダナオ国立大学ーイリガン工科大学
40		University of the Philippines - Diliman	フィリピン大学ディリマン校
42	Sri Lanka	University of Colombo	コロンボ大学
43		University of Peradeniya	ペラデニヤ大学
44	Thailand	Asian Institute of Technology	アジア工科大学
45		Burapha University	ブラパー大学
46		Chiang Mai University	チェンマイ大学
47		Chulalongkorn University	チュラロンコン大学
48		Kasetsart University	カセサート大学
49		Khon Kaen University	コンケン大学
50		King Mongkut's Institute of Technology Ladkrabang	モンクット王工科大学ラカバン校
51		King Mongkut's University of Technology Thonburi	モンクット王工科大学トンブリ校
52		Mahidol University	マヒドン大学
53		Prince of Songkla University	プリンスオブソンクラ大学
54		Thai-Nichi Institute of Technology	泰日工業大学
55		Thammasat University	タマサート大学(シリントーン国際工科院)
56	Vietnam	Hanoi University of Industry	ハノイ工業大学
57		Hanoi University of Science and Technology	ハノイ工科大学
58		Ho Chi Minh City University of Technology	ホーチミン市工科大学
59		Industrial University of Ho Chi Minh City	ホーチミン工業大学
60		Vietnam-Japan University	日越大学

第3バッチ（2019年度）～第5バッチ（2021年度）本邦受入大学一覧
 （※2018年度「国費外国人留学生の優先配置を行う特別プログラム」
 採択プログラムのうち本事業対象となるもの）

実施大学名	プログラム名称（日本語）
大阪大学	バイオテクノロジー産学共創グローバル人材育成特別プログラム
大阪大学	長寿命社会を支えるデータ科学と生体機械工学の融合博士人材育成特別プログラム
大阪大学	量子デザイン・実証実験による創発物質科学プログラム
総合研究大学院大学	人工知能とデータサイエンスを先導する次世代研究者育成のための学際的プログラム
東京農工大学	ASEANにおける高度農学研究の社会実装を実現するイノベーターリーダーの育成
名古屋工業大学	グローバル高度技術者育成プログラム
岡山大学	ASEAN 諸国での持続可能な開発目標（SDGs）に基づく「食と環境」問題を解決する指導者育成プログラム
京都工芸繊維大学	スマートマテリアル産業創出のための人材育成プログラム
豊橋技術科学大学	地域とアジアを結ぶ日本型産業イノベーション人材育成プログラム
金沢大学	超スマート社会に寄与する電子情報科学分野の高度 IT 研究開発人材養成プログラム
金沢大学	次世代の計算科学・データサイエンスを担う数物科学のグローバル人材育成
北九州市立大学	アジアの環境問題を組織で解決するための共修型教育プログラム
九州大学	「日本を知るためのプログラム」と連携した工学系高度人材育成プログラム（イノベティブ・アジア）
神戸大学	SDGs 技術基盤の構築に資する国際データサイエンス人材育成プログラム
神戸大学	アジアのメディカルイノベーションを担う次世代リーダー育成プログラム
横浜国立大学	ICT 技術×土木工学のイノベーションを牽引できる高度国際人材育成プログラム